

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	12 その他事務管理（財産管理）財産管理
事務事業名		02 日生総合支所維持管理事業	
根拠法令・規程等		備前市支所及び出張所費設置条例	
問		担当課（室）	日生総合支所管理課
答		職・氏名	課長代理 星尾 靖行
先		電話	72-1254

事業の実施	
対象（誰・何に対して）	市民及び職員
目的（何のために）	行政サービスが適正に行えるために日生総合支所のイ維持管理等を行う。
行政活動（どのような方法で）	日生総合支所の清掃業務等の委託及び維持補修並びに改善工事の実施。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	維持管理コストの削減

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
経常経費	千円	14,667	16,682	10,805
直接事業費	千円	8,664	10,567	9,410
必要人員	人	0.85人	0.77人	0.53人
事業費	千円	14,874	16,682	11,277
国県支出金	千円			
受益者負担		41	48	48
繰入金	千円			
市債	千円			
その他（駐車場土地貸付収入）	千円			
一般財源		14,833	16,634	11,229
受益者負担比率	%	0.3%	0.3%	0.4%

結果指標名					単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	経常経費	説明	維持管理コストの削減で結果指標量で比べる					
	対前年比	%	14,667	16,682	10,805			
	対前年比	%	70.5	113.7	64.8			
結果指標②	活動コスト	円	14,874,000	16,682,000	11,277,000			
	対前年比	%	1,014	1,000	1,044			
	対前年比	%						

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
維持管理コスト	目標値 (A)				
	実績値 (B)				到達目標年度
	達成率 (B/A)				
成果指標設定の考え方・式や説明					
できる限り維持管理コストを削減すること					

事業の目的、対象、内容を考えて目的・意図の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E>	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	判定理由・課題認識	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	C
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識	
有効性の評価	市民参画度		有効性評価<A~E>	D
			判定理由・課題認識	

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	結果指標量②		成果指標量			
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	維持管理コストの削減に向け、定期の施設清掃を職員で行い直営としている。また、空調設備等の改修を中心とした総合的な省エネルギー改善を実施し、光熱水費の削減に努める。						

総合評価		評価区分<A~E>	
組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できていると考えられるが、維持管理費の削減等今後検討し継続する。		C	

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	現状のまま継続する。						
評価の視点	改善内容			改善時期	改善により期待される効果		
改善がある場合							